

今号の
トピックス**ICT 活用推進とメディアコントロール力の育成**
～特別支援学校での全校を挙げた取り組み～

青森県立森田養護学校で上記タイトルの研究主任である宮原貴子さんに、その推進の概要を報告していただきました。DX政策に対して、きちんとそのリスクとメディアコントロールも育成して推進する先進的な取り組みです。普通学級でもその方向性は同じであり、学ぶべきことが多々あります。(編集部・大谷)

青森県立森田養護学校は、知的障害と、知的障害を伴う肢体不自由の児童生徒が学ぶ特別支援学校です。青森県教育委員会のICT活用に関する重点事業を受けて、本校でも令和3年度からICTを活用した授業の実践・充実に取り組んでいます。しかし一方で、昨年度実施したメディア機器利用時間に関するアンケートで、長時間使用している児童生徒が多いことが分かり、視力や睡眠の質の低下など健康面への影響が心配されました。そこで本校では、ICT機器を活用した授業の充実と、健康的に使用することへの意識醸成(メディアコントロール力の育成)の両面から、校内研究として全校で取り組み始めました。

健康への影響については新しい内容であるため、4回に渡って職員対象の学習会を実施し、長時間使用による目と脳、睡眠への影響と依存問題について学びました。また、全校児童生徒のインターネット利用状況等について、保護者へのアンケート調査により実態把握を行いました。その後、全教員(約60名)が「ICTの活用推進」と「メディアコントロール力の育成」の二つのグループに分かれて研究を進めています。今回は、3年計画の1年目であり今年度の取り組みについて、メディアコントロール力育成グループを主に紹介します。

「ねらいが明確なICT活用推進グループ」の取組**①研究授業**

ICT機器を活用した授業について、指導案の内容を検討し、実際の授業を見て意見を出し合いました。

②アプリの紹介

情報担当の教員が、タブレット端末で利用できるアプリや便利な使い方について紹介しました。

③一人一事例の実践報告

各学級で行った授業についてグループ所属の全教員がレポートを作成し、情報を共有しました。

本校では、発語のない児童生徒の意思伝達のツールとしてICT機器を使う例が多くありました。今後は、「ICTありき」ではなく授業のねらいを明確にして活用していくことが課題です。

「メディアコントロール力の育成グループ」の取組

3つの実践チームを作って活動しました。

①保護者への情報提供チーム

家庭でのメディア機器使用については保護者の協力が欠かせませんが、アンケート調査では、「これまで長時間利用による健康被害に関する情報を得る機会がなかった」と答えた保護者が半数を超えていました。保健だよりの一部にコーナーをつくり、健康への影響やルールづくりのコツなどの情報を発信しています。

②余暇の充実促進チーム

「長い時間使うと良くないのは分かるけど、代わりに何をさせたらいいの?」という声が聞かれています。そこで、様々な余暇活動との出会いを増やすために、学部便りの一部に、年齢に合わせた遊び等を紹介するコーナーを作成しました。

③児童生徒への予防教育チーム

高等部2年生の学級を対象に、メディアコントロール力の育成をねらった研究授業を行いました。

授業では、生徒が「メディア機器でできること」を付箋紙に書き出しました。「動画視聴」「ゲーム」「ソフトを使ったタイピング練習」「欲しい服を調べる」「美容院の予約」など、たくさんの意見が出されました。

次に、グループで話し合いながら、付箋紙をABCの3つのグループに分類していきました。

A：自分が成長するための使い方

B：生活が便利になるための使い方

C：AでもBでもない使い方

生徒たちは、分類しながら「自分がしていることは何なんだろう?」と考えます。ある生徒は「Cは、将来、人の役に立つことはないこと。」と発言しました。「でも、Cって全部悪いことなのかな?」という意見も。生徒達は、自分の機器使用と向き合い、考えていました。

メディア機器を使って何かをしている時、これは何のために使っているのかな?と考えられる生徒になってほしいと願っています。そこに、健康被害に関する知識もあれば、「時間を減らそう!」と言わなくても、健康を害するような使用は減っていくのではないのでしょうか。

次年度は、小・中学部段階の児童生徒に必要なメディアコントロール力とは何かを探る授業展開と、系統性・一貫性のあるメディアコントロール力段階表の作成を予定しています。

A・BとCの違いに気付くためには、「メディア機器を使うことで勉強が良く分かった!便利だった!」という経験も必要です。ですから、ICTを活用した学びの充実と健康被害の予防、それらを融合させた、健康的なICT活用のためのシステム作りを目指していきます。